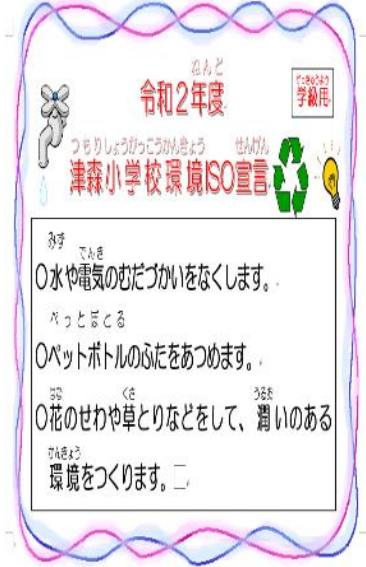


令和2年度（2020年度）学校版環境ISOへの取組

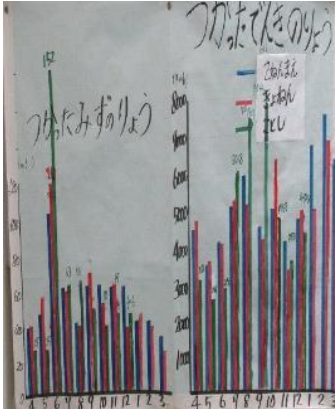
< 益城町立津森小学校 >

1 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言	 <p>津森小環境 ISO 宣言の 掲示（児童用・学級用）</p>  <p>津森小環境 ISO 宣言 の掲示（職員用）</p>	<p>まず、令和2年度環境 ISO 宣言の学級用と職員用を作成した。</p> <p>【児童】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①水や電気のむだづかいをなくします。 ②ペットボトルのふたを集めます。 ③花のせわや草取りなどをして、潤いのある環境をつくれます。 <p>【職員】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①OA 機器、空調などのスイッチはこまめに消し、消費電力を抑えます。 ②再生紙を利用したり、裏紙印刷をしたりして、紙の消費を減らします。 ③水のむだ遣いを減らします。 ④校内や地域の環境美化に努めます。 <p>これをもとに、環境委員会では、環境にやさしい生活をするため、自分たちでできる環境保全活動を考えて行った。</p> <p>まず、水と電気の使用量を月ごとにグラフ化して放送で知らせ、節約を呼びかけた。そして、「節約グランプリ」を行った。</p> <p>校内環境美化については、季節毎の花壇の花の植え替え等をした。</p> <p>資源の有効利用・ボランティア活動としては、家庭への協力を呼びかけてペットボトルのキャップを集め、世界の子どもたちのワクチン購入のため寄附をすることにした。</p> <p>職員も、使っていない教室の冷暖房を消したり、裏紙印刷ができるようにボックスを置いたりしている。</p>

	<div data-bbox="311 235 678 436"></div> <div data-bbox="311 448 678 548"> <p>5年生 環境学習 水俣病資料館見学</p> </div> <div data-bbox="311 571 678 795"></div> <div data-bbox="311 806 678 873"> <p>冬水田んぼの学習</p> </div> <div data-bbox="311 884 678 1153"></div> <div data-bbox="311 1164 678 1220"> <p>「節約グランプリ」記入カード</p> </div> <div data-bbox="311 1265 678 1467"></div> <div data-bbox="311 1500 678 1612"> <p>児童集会で節電・節水を 呼びかける発表</p> </div> <div data-bbox="311 1646 678 1825"></div> <div data-bbox="311 1836 678 1892"> <p>ペットボトルキャップ集め</p> </div>	<p>(1) 行事及び学習との関連</p> <p>学校としては、重点指導目標を「学校版環境 ISO 活動に取り組み、児童の環境保全への意識を高める」とし、学校行事・P T A活動・児童会活動・総合的な学習の時間（3年生地域探検、4年生ごみ問題、5年生水俣病環境学習）・道徳・教科等との関連を図った取組を行った。5年生においては、九州大学との連携活動として「冬水田んぼの生物調査と田んぼの役割」を継続して学習し、児童の環境への関心を高めた。</p> <p>(2) 具体的な活動</p> <p>①節水・節電の取組（環境委員会）</p> <p>昨年度のグラフに今年度の使用量を書き加え、校内に掲示した。給食時間の放送で、電気や水の使用量を昨年度や前月と比較して知らせた。節電・節水について考えてもらうために、具体的な取組（バケツを使ってぞうきんを洗う・誰もいない教室の電灯を消す）を提案したり、各学級でめあてを考えてもらい「節約グランプリ」を行ったりして、意識づけられるようにした。児童会からは、「教室に何分以上不在の時に、冷房を消せば節電になるか」という質問があり、委員会児童がインターネットで調べ、全校に紹介した。</p> <p>児童集会では、電気や水の1か月分の使用量がどれくらいなのか、クイズにして全校児童に紹介した。</p> <p>②ペットボトルキャップ集め</p> <p>「ペットボトルキャップで世界の子どもにワクチンを届けようキャンペーン」への参加は9年目で、児童全体に定着しつつある。ペットボトルキャップを自主的に集めている家庭も多く、協力体制は整っている。環境委員会を中心に児童に呼びかけてキャップを集め、洗浄・乾燥して、重さを量り、郡内の大型ショッピングモールへ持ち込む。世界の子どもたちの命を守ると共に、ごみ問題や資源の再利用について学びながら実践する貴重な学習となっている。</p> <p>今年度は、委員会児童が話し合って、例年よりも集める期間を長く設定した。また、定期的に数を数えて全校に知らせ、より多く集められるように工夫した。</p> <p>③花と緑の活動</p> <p>校内美化活動として季節毎に花壇に花を植えてい</p>
--	---	--

<p>行動</p>	 <p>花の植え替え</p>  <p>農作物収穫の様子</p>  <p>ジャガイモの植え付け</p>  <p>封筒の再利用 ボックス</p>	<p>る。例年は、苗を購入していたが、今年は種を蒔いて苗を育てたので、たくさんの苗を花壇に植えることができた。春には校内が花でいっぱいの潤いある環境になると思われる。</p> <p>④農園活動</p> <p>PTA と連携した活動として、伍三郎農園と学校田の栽培活動がある。PTA 整備部の協力・指導のもと、植え付けを体験し収穫したものを様々な学習活動に生かしている。今年度も、ジャガイモ・サツマイモ・ダイコン・大豆の栽培と収穫、イネの栽培と収穫を行った。作物を育てることで、地域の環境や地球温暖化、また、季節ごとの気温や雨量の変化を感じることができる。さらに、作物を育てるという労働を体験することで、働く意味を理解する。</p> <p>収穫した作物は、例年ならば PTA の協力のもとで学校行事等にも活用してきたが、今年度に関しては児童が分け合って家庭へ持ち帰ったものが多い。安全面に十分配慮し、クラブ活動・家庭科や生活科の学習で調理して味わう活動も実施できた学年もあった。少量ではあるが、お世話になっている校区内の施設等にも届けた。</p> <p>また企業（キッコーマン）の協力を得て、総合的な学習の時間に発酵食品について学習し、収穫した大豆から味噌をつくる活動につなげることができた。</p> <p>⑤職員による紙の消費抑制等の取組</p> <p>会議や職員用の印刷物については、できるだけ裏紙の再利用を実践している。用紙サイズ毎の裏紙印刷用のボックスを印刷室に設置したり、再利用可能封筒ボックスを事務室に設置したりして、紙の両面使用や封筒の再利用を推進している。また、画用紙の切れ端などもボックスを設置し、再利用できるようにしている。</p>
<p>記録</p>		<p>(1) 毎月の水道使用量・電気使用量のグラフ化</p> <p>環境委員会で学校の毎月の水道使用量と電気使用量の推移をグラフ化し、校内に掲示している。前年度の使用量と比較できるように、色を変えて記入している。これから昨年度との使用量増減の原因を考え、無駄づかいを減らす具体的な取組を考え提案できた。</p>

	 <p>水と電気の使用量のグラフ</p>	<p>(2) 集まったペットボトルキャップの数の記録</p> <p>例年より長い期間、ペットボトルキャップを集めた。各家庭の協力で、コンテナに何杯分ものキャップが集まっている。集まった物は、昨年同様に世界の子どもたちのワクチン購入費として寄附する予定である。</p> <p>青は H30、赤は R 元、緑色が R 2</p>
見直し		<p>今年度の津森小環境 ISO の取組では、毎月の水道使用量・電気使用量の推移と一昨年度・昨年度との違いを考察している。使用量の変化や結果を放送や集会で環境委員会から学校全体に知らせ、節約グランプリを提案することで、各学級の実態に合わせた節水節電の仕方を考えて取り組んだ。その結果、水道及び電気の使用量が夏以降に減少している。</p>

2 成果と課題

成 果	課 題
<p>○バケツにくんだ水で雑巾を洗うことで節水を、使っていない教室の電気を消すことで節電するという取組を呼びかけた。もっと各学級に考えてもらえるようにと委員会児童が考えて、学級ごとに節電・節水の目標を立てて取り組んだ。夏以降は、使用量を減らすことができた。</p> <p>○環境委員会の児童が中心になって企画し、節電・節水の呼びかけやペットボトルキャップ集めなどを行うことで、子どもたちの意欲は高まった。</p> <p>○伍三郎農園活動やコメ作りを P T A 活動や地域の方々のご協力のもと、取り組むことができた。これらの活動を通して、作物の栽培、命を大切にする、地球環境の問題、食への感謝の気持ちなどを学んでいる。</p>	<p>●学級ごとに取組の差があった。</p> <p>●集めたキャップを洗う中で、ペットボトルキャップでないものが混じっているのを見つけ分別した。家庭でも自分で分別して資源とごみを分けることができる力につなげたい。</p> <p>●今年度は、収穫した作物を学校全体として活用し、共通体験をもつことは難しかった。</p>